

平成21年度 オール東京62市区町村共同事業
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」実績報告書

事業名	主な事業内容
〔1〕CO2削減につながる活動の普及・省エネルギーの促進・温室効果ガス排出抑制	
①共同事業普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ●パンフレットの作成 ●イメージキャラクターPRグッズの作成 ●イメージキャラクター活用素材集の作成 ●街路灯省エネ化促進リーフレットの作成
②温室効果ガス標準算定手法の共有化推進	●区市共通版とした標準算定手法により、各団体ごとの温室効果ガス排出量を算定し公開
③省エネチャレンジ	●東京都内の小学校を対象に家庭での環境負荷低減活動を実施 ※別紙1
④レジ袋削減キャンペーン	●レジ袋削減に向けた、普及・啓発事業を実施 ※別紙2
〔2〕みどりの保全と地球温暖化防止対策を推進するための連携体制構築	
①ホームページの充実	●本プロジェクトや市区町村の環境情報の提供
②市区町村職員共同研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●市：生物多様性の保全に向けた地方自治体の役割 ●区：カーボンオフセットを考える
③カーボン・オフセットの研究	●基礎自治体におけるカーボン・オフセットの可能性について研究を実施 ※別紙3
〔3〕人々が環境を考え、行動できる場の設定	
①みどり東京・温暖化防止プロジェクト助成金交付	●62市区町村が実施する、みどりの保全・温暖化防止に関する事業に対して、1市区町村150万円を限度に助成
②みどり体験交流事業	●各市区町村が実施主体となり地球温暖化防止に資するための体験型教育を都内の児童(小学生)を対象として行う事業に助成金を交付 ※別紙4
③みんなで環境を考える共同行動の実施	●シンポジウム「低炭素社会構築に向けた取り組みと今後の課題」
	●共同行動参加システム(仮称)基本計画を作成 ※別紙5

省エネチャレンジ

1 内容

東京都内の小学校を対象に、児童が各家庭において、11月は普段どおりの生活、12月は省エネを心がけた生活を送り、環境負荷低減活動に取り組む中で、自分たちの暮らしと環境へ与える負荷との関係を学び、また、どれだけCO2が削減できるかを学年もしくは学級単位で取り組む事業を実施した。

2 効果

次世代を担う多くの子どもたちに、地球温暖化防止に興味、関心を持つ機会を提供することができた。

3 実施結果

- (1) 参加校数・児童数 58小学校(63チーム)、2,695名
 (2) CO2増減量・増減率 125,923.8kg増、16.7%増
 (3) 入賞校(カッコ内はチーム名)

第1位	檜原村立檜原小学校 (緑檜原省エネ隊)	削減率14.2%
第2位	墨田区立隅田小学校 (墨田区立隅田小学校6年生)	削減率2.7%
第3位	荒川区立瑞光小学校	削減率0.1%
特別賞	文京区立汐見小学校 (小林組)	4年生時に行った環境学習の反省を生かし、家族ぐるみで課題を探し作戦を立案して、取り組んだ。
〃	墨田区立横川小学校	総合のゴミの学習の発展として、富士山クラブより環境破壊の現状についての資料をお借りし、自分でできる環境保護に取り組んだ。
〃	江戸川区立南葛西第二小学校 (南二小省エネチャレンジャーズ)	東京ガスによる出張授業、サンヨー電気による「3R」についての実験キットの貸し出し利用、エコキャップ回収、緑のカーテン、もったいない運動などを通して、省エネに対する意識を高めた。
〃	立川市立第四小学校 (四小六年)	「トイレの電気消し忘れ隊」「水道チェック隊」などを児童が自主的に取り組み、5年生から育てた苗を奥多摩へ植樹に行く活動も予定している。
〃	稲城市立稲城第三小学校 (三小エコキッズ5年、三小エコキッズ6年)	エコキャップ活動を行い300人分のワクチンの寄付、プラタブ・アルミ缶を回収し車椅子にかえる運動などを行うとともに、省エネチャレンジを通してエコについてさらに関心を深めた。
参加率100%賞	豊島区立駒込小学校	児童の参加率100%で取り組んだ学校
〃	江東区立第一大島小学校	〃

※1 省エネチャレンジは参加対象を学年もしくは学級単位で取り組むものとしていることから、入賞校の選考にあたっては、児童の平均参加率63.4%以上の学校を対象とした。

※2 チャレンジ実施期間が不適格な場合は、対象外とした。

※3 参加校中、児童の参加率100%で取り組んだ学校2校を、参加率100%賞として表彰することとした。

4 表彰(フィナーレイベント)

- (1) 実施日 平成22年2月27日(土)午後2時から午後3時30分
 (2) 場所 発明会館ホール(港区虎ノ門2-9-14)
 (3) 内容 第1部 表彰式
 第2部 イベント(らんま先生によるエコ実験パフォーマンスショー)

レジ袋削減キャンペーン

1 内容

「レジ袋削減に関する共同アピール」に基づき、レジ袋削減に関する社会的気運の醸成（無駄に使用されているレジ袋についての気づきを共有する運動の実施）をメインテーマとし、レジ袋削減に関する普及・啓発を図るべく、ポスター、ラジオ、WEB、トレインチャンネル、出張授業等の取り組みを行った。

2 効果

様々な啓発方法により、多くの方に、レジ袋削減について機会を提供することができた。

3 実施結果

(1) キャンペーン期間

平成21年8月～平成22年3月

(2) ポスターによる啓発

8月のキャンペーン開始月、10月の3R推進月間、12月の地球温暖化防止月間に併せて、ポスターを3種類作成し、各市区町村へそれぞれ配布した。また、本キャンペーンホームページより各ポスターをダウンロードできるようにしたほか、チームマイナス6%（現：チャレンジ25キャンペーン）と連携し、ポスターを希望するチーム員の企業団体等へ配布した。

(3) ラジオによる啓発

8月29日から3月27日まで、ラジオ「インターFM」（76.1MHz）の番組「GREEN STATION」（毎週土曜日午前10時～正午OA）内で、本キャンペーンを紹介するコーナー（30分程度）を設け、各市区町村や団体の方等にも出演いただき、環境施策・レジ袋削減に関する取り組み・温暖化防止対策等の情報発信を行った。

(4) ホームページによる啓発

みどり東京・温暖化防止プロジェクトホームページ (<http://all162.jp/>) 内に本キャンペーン用特設ページを開設した。

(5) JR車内、駅構内放映（トレインチャンネル、ステーションチャンネル）による啓発

10月26日から11月1日まで、JR車内（中央線・山手線・京浜東北線）および駅構内（新宿駅・渋谷駅）で本キャンペーンに関する内容を放映した。

(6) 出張授業

10月14日から2月9日までの期間中に、都内小学校9校（区部3校、市町村部6校）で地球温暖化とレジ袋をテーマとした出張授業を行った。

(7) WEBマガジンとの連携

チームマイナス6%（現：チャレンジ25キャンペーン）のホームページやWEBマガジン（MYLOHAS）のホームページ内で本キャンペーンの情報発信を行った。

(8) 携帯動画配信

携帯電話動画サイト（QTV）で本キャンペーンの情報発信を行った。

カーボン・オフセットの研究

1 内容

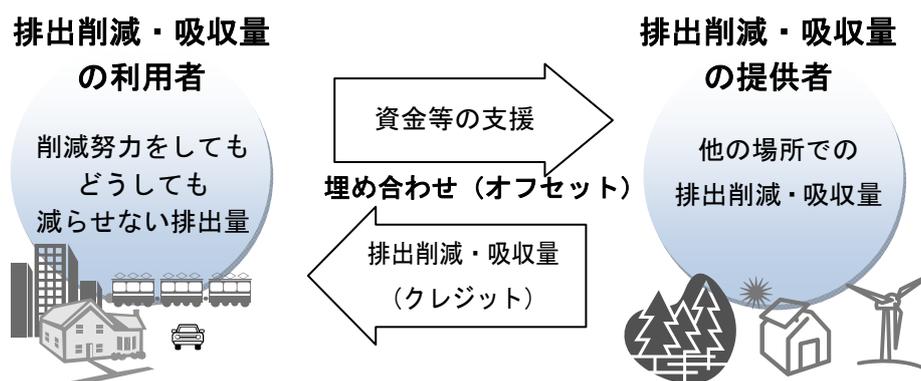
基礎自治体におけるカーボン・オフセットの可能性を探るため、取組事例調査や各市区町村を対象にしたアンケート調査を行い、基礎自治体によるカーボン・オフセットへの関わり方、意義・効果などを検討した。

2 効果

次のことを確認するとともに、具体化に向けた調査研究を更に進めていくことを確認した。

- (1) カーボン・オフセットが、住民や事業者などの自主的かつ積極的な地球環境保全への貢献を促すものであり、各市区町村において地球温暖化防止施策の一つとして活用できること
- (2) 排出削減・吸収量の利用者と提供者が手を組む取り組みであり、地球温暖化防止を通じた地域間や主体間の新たな交流を生み出す可能性があること

●カーボン・オフセットの仕組み



3 実施結果

- (1) 自治体委員会 (市区町村職員11名、6回開催)
 検討委員会 (知識経験者6名、2回開催)
 総合委員会 (自治体委員会、検討委員会合同)
- (2) 中間報告書 (平成22年1月14日送付)
- (3) 報告書 (平成22年3月26日送付)

みどり体験交流事業

1 内容

各市区町村が実施主体となり地球温暖化防止に資するための体験型教育を都内の児童（小学生）を対象として行う事業に助成金を交付した。

2 効果

今年度は、三宅村、新宿区、檜原村、奥多摩町、青梅市、江戸川区で実施。各地域の特性を活かした体験活動を通じて、自然にふれあい楽しみながらみどりのもつ大切さを実感・体感してもらうことができた。

また、島の自然と文化を学習、里山保全体験、森の働きを通した森と自分たちの生活（都市）との関わり、また、東京湾の自然と直接触れあうことで、都会の中の水と緑の大切さを学ばせた。

3 実施期間

平成21年6月7日～平成21年10月24日までの間で9回実施

4 実施結果

参加者数 292名

市区町村名	事業名	実施日	対象	期間	参加者数	助成額
新宿区	東京の里山保全体験	①6/7	小1～6 と保護者	1日	43人	941,000円
		②8/1		1日	29人	
		③10/17		1日	36人	
奥多摩町	林業と山のくらし体験	①8/9～10	小4～6	1泊2日	27人	1,717,288円
		②9/22～23		1泊2日	28人	
檜原村	檜原村の森で遊ぼう！	8/18～20	小4～6	2泊3日	26人	3,000,000円
三宅村	三宅島で、自然の驚異と神秘、保護と再生の大切さを知る	8/18～21	小4～6	3泊4日 内船中1泊	32人	3,998,285円
青梅市	山の体験 青梅市御岳山「御岳しぜん体験隊」	9/21～23	小3～4	2泊3日	26人	2,979,600円
江戸川区	葛西臨海公園探検隊	10/24	小4～6 と保護者	1日	45人	436,701円
計					292人	13,072,874円

(仮称) 共同行動参加システムの基本計画作成

1 内容

誰もがいつでも、CO2削減を始めとする環境負荷低減活動等に参加できるようなインターネットを利用した共同行動の場をつくるため、基本計画を策定した。

2 実施結果

- (1) 検討委員会（市区町村職員9名、8回開催）
- (2) 中間報告（平成21年12月送付）
- (3) 報告書（平成22年5月発送）

3 検討委員会の開催経過

開催数	開催日	議事項目
第1回	平成21年8月28日	①「共同行動参加システム(仮称)基本計画の概要について ②「共同行動参加システム(仮称)基本計画作成の企画提案」について ③今年度(次年度等)のスケジュール(検討会での予定議事内容)について
第2回	平成21年9月25日	①各委員の基本計画への補足意見の確認(アンケート調査結果) ②基本方針(骨格)の確認 ③62市区町村で取り組むメリット ④サイトの魅力向上策の検討 ⑤検討フロー
第3回	平成21年10月29日	①サイト名について ②ユーザーの区分け ③コンテンツ(案)の検討 ④ホームページイメージ ⑤コンテンツ(案)の検討
第4回	平成21年11月27日	①サイト名について ②ホームページイメージ ③コンテンツ(案)の検討 ④スケジュール検討
第5回	平成21年12月24日	①サイト名について ②中間報告書(案)について ③62市区町村アンケート検討
第6回	平成22年1月29日	①62市区町村アンケートについての経過報告 ②システム構築方法、運用保守方法について
第7回	平成22年2月18日	①62市区町村アンケート結果について ②サイト名について ③システムの構築方法、運用保守方法について ④PR・広報について ⑤将来展開について
第8回	平成22年3月18日	①報告書(案)について